教科	国語	学年	第6学年
-----------	-----------	-----------	-------------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分に質問してみよう	2 (話す聞く2)	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分のことを客観的に捉えて話す。 △言葉には、相手とのつながりを持つ働きがあることに気付くこと。⇒③知技(1)ア ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒③思考表A(1)ア ◇話の筋や内容となるように、事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えること。⇒③思考表A(1)イ ◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。⇒③思考表A(1)ウ ◇意見を提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。⇒③思考表A(2)ア 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】言葉には、相手とのつながりを持つ働きがあること、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。((知識及び技能)(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】「話すこと」において、目的や意図に応じて、自分の考えを伝えるために、話の筋や内容を整理し、事実と感想、意見を区別するなど、話の構成を考えたこと、また、話の筋や内容を整理し、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表す工夫を工夫すること。⇒③思考表A(1)イ 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】積極的に自分のことを客観的に捉え、今までに学習してきたことについて考えようとしている。
風景 純粋もざい	1	<ul style="list-style-type: none"> △繰り返しの響きや意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。 △思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒③知技(1)ア △比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。⇒③知技(1)ク △文章を音読したり朗読したりすること。⇒③知技(1)ケ ◇登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。⇒③思考表(1)イ ◇人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒③思考表(1)エ ◇文章を読んで意味したことを基に、自分の考えをまとめること。⇒③思考表(1)イ ◇文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒③思考表(1)カ ◇詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒③思考表(2)イ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。((知識及び技能)(1)ア) ◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((知識及び技能)(1)ク) ◎【知技】文章を音読したり朗読したりしている。((知識及び技能)(1)ケ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒③思考表(1)エ 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】進んで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	2	<ul style="list-style-type: none"> ◇言葉の意味に気をつけて音読し、言葉の意味を考える。 △文の中の語句の係り方や語順、文と文の接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒③知技(1)カ △思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒③知技(1)ア △文章を音読したり朗読したりすること。⇒③知技(1)ケ ◇登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。⇒③思考表(1)イ ◇人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒③思考表(1)エ ◇文章を読んで意味したことを基に、自分の考えをまとめること。⇒③思考表(1)イ ◇文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒③思考表(1)カ ◇詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒③思考表(2)イ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】文の中の語句の係り方や語順、文と文の接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。((知識及び技能)(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒③思考表(1)エ 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】進んで言葉の意味を考え、学習の発達をもつて音読しようとしている。
図に表して考えよう	3 (書く3)	<ul style="list-style-type: none"> ■考えや意見を図に書いてまとめる。 △思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒③知技(1)ア △情報と情報の関係付けの仕方、図などによる話と語句との関係の表し方を理解し、使っている。⇒③知技(2)イ ◇目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒③思考表B(1)ア ◇目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表す工夫を工夫すること。⇒③思考表B(1)ウ ■事後を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒③思考表B(2)ア ☆全ての学習ノートの活用でできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】情報と情報の関係付けの仕方、図などによる話と語句との関係の表し方を理解し、使っている。((知識及び技能)(2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)3)ア 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】図に書く伝えたいことを明確にしようとして、学習の発達をもつて音読しようとしている。
一筆者のもの見方や感じ方などにふれ、随筆に親しもう	11 (書く6)	<ul style="list-style-type: none"> ■自分に重なるから随筆を読み、それを参考に、自分のもの見方や考え方を深め、経験したことなどを表現を工夫して書く。 			
春はあけぼの	3 (書く1)	<ul style="list-style-type: none"> △『枕草子』の文章にふれ、リズムや響きを味わいながら音読し、『枕草子』ふうの文章を書く。 △文や文章の中で漢字(仮名)を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒③知技(1)ウ △思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒③知技(1)ア △読みやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を捉えること、言葉の響きやリズムに親しんでいる。⇒③知技(3)ア △古今について解説した文章を読んだり作品の内容の全体像を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒③知技(3)イ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】読みやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を捉えること、言葉の響きやリズムに親しんでいる。((知識及び技能)(3)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)3)ア 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】進んで話感や言葉の使い方に親しむようになり、『枕草子』ふうの文章を書くようになっている。
薫風「迷う」	3	<ul style="list-style-type: none"> ◇筆者のもの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しむ。 △文の中の語句の係り方や語順、文と文の接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒③知技(1)カ △思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒③知技(1)ア ◇事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒③思考表(1)ア ◇目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見付けたり、筋の進め方について考えたりすること。⇒③思考表(1)イ ◇人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒③思考表(1)エ ◇文章を読んで理解したことを基に、自分の考えをまとめること。⇒③思考表(1)イ ◇文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒③思考表(1)カ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】文の中の語句の係り方や語順、文と文の接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。((知識及び技能)(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒③思考表(1)ア 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、学習の発達を促して、昔の人の見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。
随筆を書く	5 (書く5)	<ul style="list-style-type: none"> ■心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書く。 △話し言葉と書き言葉の違いに気付くこと。⇒③知技(1)イ △思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒③知技(1)ア △文の中の語句の係り方や語順、文と文の接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒③知技(1)カ △比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。⇒③知技(1)ク ◇目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒③思考表B(1)ア ◇目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること、事実と感想、意見を区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表す工夫を工夫すること。⇒③思考表B(1)ウ ◇文章全体の構成や書き表し方を基に、自分の考えが伝わるように書き表す工夫を工夫すること。⇒③思考表B(1)エ ◇文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよさところを見付けると。⇒③思考表B(1)カ ■事後を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒③思考表B(2)ア ☆総合的な学習の時間など、卒業文集を作成するときに活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。((知識及び技能)(1)ア) ◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((知識及び技能)(1)ク) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)3)ア 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】積極的に随筆の特徴について理解し、学習の発達を促して、昔の人の見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。
漢字の広場① 三字以上の熟語の構成	1	<ul style="list-style-type: none"> △三字以上の熟語の構成について理解を深め、由来に関心をもち、 △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を履修すること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使ったこと、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒③知技(1)イ △思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、話感や言葉の使い方の対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒③知技(1)ア 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】思考に関する語句の量を増し、話や文章の中で使ったこと、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。((知識及び技能)(1)ア) 		<ul style="list-style-type: none"> 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。
漢字の広場① 五年生で学んだ漢字①	1 (書く1)	<ul style="list-style-type: none"> △絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 △文や文章の中で漢字(仮名)を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒③知技(1)ウ △文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよさところを見付けると。⇒③思考表B(1)カ ■事後を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒③思考表B(2)ア 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎【思考表】「書くこと」において、絵の道徳や文章などから、文章全体の構成や展開を考えている。((思考力、判断力、表現力等)3)イ 	<ul style="list-style-type: none"> 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。

二 筆者の考えを読み、説明の仕方の特徴をとらえよう	5 (書く2)	□ 図やエネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討しながら読み、筆者の説明の仕方やエネルギーの利用について考えをまとめる。			
音は新しいエネルギー	5(書く2)	△ 文や文章の中で漢字や仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △ 思考に関する語句の量を増し、語句や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ △ 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語句を使うこと。⇒知技(1)ウ △ 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(1)ア △ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)	◎【思考表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実や感情、意図などを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】(1)ウ) ◎【思考表】「読むこと」において、事実や感情、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(【思考力、判断力、表現力等】(2)ア) ◎【思考表】「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなど必要な情報を見つけたり、餘の進め方について考えたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】(2)ウ)	【態度】積極的にエネルギーの利用に對する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方やエネルギーの利用について考えをまとめるようとしている。
主語と述語の対応をみる	2	△ 主語と述語の対応を確認して、文のねじれに気づき、正しく直す。 △ 文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ	◎【知技】文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)		【態度】積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直すようとしている。
三 立場を決めて、主張を明確にしよう	10 (話す聞く6、書く4)	◎ 立場や意見をはっきりさせて話し合ったり、パンフレットを作成して伝えたりする。			
地域の防災について話し合おう	6 (話す聞く6)	◎ 意見の違いを大事にしなが話し合い、考えを深める。 △ 思考に関する語句の量を増し、語句や文章の中で使うこと。⇒知技(1)ウ △ 語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語句を使うこと。⇒知技(1)ウ △ 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。⇒知技(1)キ ◎ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたい内容を検討すること。⇒思考表A(1)ア ◎ 話しの内容が明確になるように、事実や感情、意見を区別するなど、語句の構成や展開、語や文章の種類と特徴について理解すること。⇒思考表A(1)イ ◎ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。⇒思考表A(1)ウ ◎ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒思考表A(1)エ ◎ 互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。⇒思考表A(1)オ	◎【知技】思考に関する語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)ウ)	◎【思考表】「話すこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実や感情、意図などを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aア) ◎【思考表】「話すこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ)	【態度】積極的に意見の違いを大事にしなが話し合い、学習の発達を促して、考えを深めようとしている。
パンフレットで知らせよう	4 (書く4)	■ 相手や目的に応じて内容や構成を考え、パンフレットを作る。 △ 話し言葉と書き言葉の違いに気づくこと。⇒知技(1)イ △ 文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ △ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ■ 目的や意図に応じて、感じたいことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思考表B(1)ア ■ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒思考表B(1)イ ■ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。⇒思考表B(1)ウ ■ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思考表B(1)エ ■ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。⇒思考表B(1)オ ■ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に對する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒思考表B(1)カ	◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(【知識及び技能】(2)イ)	◎【思考表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ) ◎【思考表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実や感情、意図などを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bウ) ◎【思考表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Bエ) ◎【思考表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bオ)	【態度】積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
雨	1 (書く1)	△ 「雨」を扱った言語表現を集める。 △ 語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ ■ 目的や意図に応じて、感じたいことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思考表B(1)ア ■ 短歌や俳句をつくるなど、感じたいことや想像したことを書く活動。⇒思考表B(2)イ	◎【知技】語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。(【知識及び技能】(3)ウ)	◎【思考表】「話すこと」において、目的や意図に応じて、感じたいことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。(【思考力、判断力、表現力等】Bア)	【態度】積極的に「雨」を扱った言語表現を集め、学習の発達を促して「言葉ノート」を作ろうとしている。
世代による言葉のちがいを	2	△ 世代による言葉の違いについて理解し、相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使うことができるようになる。 △ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくこと。⇒知技(1)ア △ 語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ ◎ 互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。⇒思考表A(1)オ ◎ インタビューなどを必要情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思考表A(2)イ	◎【知技】語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。(【知識及び技能】(3)ウ)	◎【思考表】「話すこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】Aオ)	【態度】積極的に世代による言葉の違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	1	△ 複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に留意すること。 △ 第6学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を学ぶこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △ 語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ	◎【知技】語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。(【知識及び技能】(3)ウ)		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の発達をもつて複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を深めようとしている。
漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	1	△ 複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味に留意すること。 △ 第6学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を学ぶこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △ 語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ	◎【知技】語句の由来などに興味をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。(【知識及び技能】(3)ウ)		【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の発達をもつて複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を深めようとしている。
漢字の広場 ② 五年生で学んだ漢字 ②	1 (書く1)	△ 絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。 △ 文や文章の中で漢字や仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △ 第6学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を学ぶこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ ■ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒思考表B(1)イ ■ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に對する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。⇒思考表B(1)カ ■ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思考表B(2)ア	◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)エ)	◎【思考表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。(【思考力、判断力、表現力等】Bイ)	【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くこととしている。
四 すぐれた表現の効果を考え、登場人物の心情を読もう	7 (話す聞く2)	□ 優れた表現を読みながら、人物の心情を読み、優れた表現について感想を話し合う。			

川とワリオ	<p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。⇒知技(1)ク</p> <p>△文章を音読したり読後したることを。⇒知技(1)ク</p> <p>△文中の「語句の係り方」を語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ</p> <p>△目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア</p> <p>△互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>△登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に推察すること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>△人物や物語などの内容を具体的に説明したり、表現の効果を考えたりすること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>△文章を読んで感じた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>△意見や提案など自分の考えを話し、それらを開いたりする活動。⇒思判表A(2)イ</p> <p>△口評や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表A(2)イ</p> <p>★道徳：物語の読みを通して、生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重しようとする。</p>	<p>◎【知技】比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。(【知識及び技能】(1)ク)</p> <p>◎【知技】文章を音読している。(【知識及び技能】(1)ケ)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】A)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に推察している。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、人物像や心情などの内容を具体的に説明したり、表現の効果を考えたりしている。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じた意見や感想を共有し、自分の考えを広げたりまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p>	<p>【態度】進んで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み取れた表現を味わっている。人物の心情を読み、学習の意図を通して優れた表現についての感想を話し合おうとしている。</p>
教えて！あなたの「とっておき」	<p>◎話し手の意図や考えを聞き、自分の意見と比べて考えをまとめる。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しよう。⇒知技(2)イ</p> <p>△目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア</p> <p>◎話し手の意図や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◎インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思判表A(2)イ</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア)</p>	<p>◎【思判表】「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】A)イ)</p>	<p>【態度】積極的に話し手の意図を考慮し、相手の学習意図を踏まえて自分の意見と比べて考えをまとめている。</p>
詩を味わおう イナゴ	<p>△言葉の広がりや味わいながら、詩の世界を楽しむ。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を豊かにし、語や句を使うこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に推察すること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>△文章を読んで感じた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>△口評や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表A(2)イ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に推察している。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p>	<p>【態度】積極的に言葉の広がりを味わい、学習課題に沿って詩の世界を楽しむ。</p>
「知恵の言葉」を集めよう	<p>△生活の中で使われている知恵の言葉に気づき、言葉の使い方の理解を深める。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を豊かにし、語や句を使うこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しよう。⇒知技(2)イ</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことを伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりと区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p>	<p>【態度】進んで語感や言葉の使い方に着目して、語や句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。学習課題に沿って自分の「知恵の言葉」をつくらせている。</p>
五 てんかいを考えて、表現を工夫して書こう 物語を作ろう	<p>■写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作る。</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を豊かにし、語や句を使うこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△文中の「語句の係り方」を語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。⇒知技(1)ク</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えると、⇒思判表B(1)イ</p> <p>■原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>■情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B(2)イ</p>	<p>◎【知技】文中の「語句の係り方」を語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解している。(【知識及び技能】(1)カ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えると、⇒思判表B(1)イ</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりと区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p>	<p>【態度】積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。</p>
会話を広げる	<p>△相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、相手との言葉の掛け合いの工夫を考える。</p> <p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。⇒知技(1)ア</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◎互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。⇒思判表A(1)イ</p> <p>◎それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。⇒思判表A(2)イ</p>	<p>◎【知技】言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。(【知識及び技能】(1)ア)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p>	<p>【態度】積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。</p>
漢字の広場 ③ 熟語の使い分け	<p>△意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分ける。</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字当量の当該学年までに配当されている漢字を練習すること。また、当該学年の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)イ</p> <p>△思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を豊かにし、語や句を使うこと。⇒知技(1)イ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。(【知識及び技能】(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えると、⇒思判表B(1)イ</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりと区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)イ)</p>
漢字の広場 ③ 五年生で学んだ漢字 ③	<p>△絵を見て想像したこともと、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字や仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字当量の当該学年までに配当されている漢字を練習すること。また、当該学年の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使った語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。⇒知技(1)イ</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B(1)イ</p> <p>■事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことを伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている漢字を文や文章の中で使っている。(【知識及び技能】(1)イ)</p>
一「心の世界」について考え、自分の考えを伝え合おう	<p>12 (話す聞く3、書く2)</p>			
あなたはどうか感じる？	<p>1</p> <p>△友達と自分の感じ方の違いについて考える。</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しよう。⇒知技(2)イ</p> <p>△文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。⇒思判表A(1)イ</p>	<p>◎【知技】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。(【知識及び技能】(2)イ)</p>	<p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで感じた意見や感想を共有し、自分の考えを広げたりまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p>	<p>【態度】進んで文章を読んで感じた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。</p>
ぼくの世界、君の世界	<p>7 (書く1)</p> <p>△筆者の考えに気づけながら、文章の要旨を捉え、「心の世界」について考える。</p> <p>△文や文章の中で漢字や仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)イ</p> <p>△文中の「語句の係り方」を語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ</p> <p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア</p> <p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解しよう。⇒知技(2)イ</p>	<p>◎【知技】原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(【知識及び技能】(2)ア)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりと区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(【思考力、判断力、表現力等】B)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(【思考力、判断力、表現力等】C)イ)</p>	<p>【態度】進んで筆者の考えに気づけながら、文章の要旨を捉え、自分の感じ方を伝えようとしている。</p>

<p>言葉は時代とともに</p>	<p>5 (書く2)</p> <p>△言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを知り、自分の考えをまとめる。</p> <p>△主観について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。⇒知技③ウ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B①ウ △文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ ■事実を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B②ア ☆総合的な学習の時間・道徳・時代とともに変化していく言葉について興味をもって調べたり、わが国の伝統や文化への関心を高めたりする。</p>	<p>◎【知技】古典について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ ◎【知技】漢字について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①ウ ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ</p>	<p>【態度】積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>二 説得力のある文章を書こう</p>	<p>6 (書く6)</p> <p>■理由や根拠を示して、説得力のある意見を書く。</p>			
<p>自分の考えを発信しよう</p>	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒知技①イ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。⇒知技③ウ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B①ウ △文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ ■事実を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B②ア ☆総合的な学習の時間など、文章を書く活動でも活用できる。</p>	<p>◎【知技】文の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ ◎【知技】漢字について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①ウ ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ</p>	<p>【態度】積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見を書くこととしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ 音を表す部分</p>	<p>△形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解する。</p> <p>△第9学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を練習すること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技①イ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。⇒知技③ウ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B①ウ △文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ ■事実を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B②ア ☆総合的な学習の時間など、文章を書く活動でも活用できる。</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。⇒知技③ウ ◎【知技】漢字について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①ウ ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を復習し、学習課題に沿って、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ④ 5年生で学んだ漢字</p>	<p>△絵を想像しながら、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △第9学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を練習すること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技①イ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。⇒知技③ウ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B①ウ △文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ ■事実や絵を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。⇒思判表B②ア</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。⇒知技③ウ ◎【知技】漢字について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①ウ ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を復習し、学習課題に沿って、絵を想像しながら、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書くこととしている。</p>
<p>三 登場人物の変化を読み、自分の考えをまとめよう</p>	<p>8 (書く2)</p> <p>◎登場人物の心情の変化を考えながら読み、想像したことを書く。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B①ウ △文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ ■事実や絵を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。⇒思判表B②ア ◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。⇒思判表C①イ ◎人物や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒思判表C①エ ◎文章を読んで感じたことに基づいて、自分の考えをまとめること。⇒思判表C①ウ ◎文章を振り返って感想や意見を共有し、自分の考えを広げること。⇒思判表C①カ ■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B②イ ◎詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表C②イ ☆道徳：物語の読みを通して、生命がかけがえないものであることを知り、自他の生命を尊重することについての考えを深める。</p>	<p>◎【知技】思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ ◎【知技】漢字について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①ウ ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ</p>	<p>【態度】読んで登場人物の心情の変化を読み、学習課題に沿って想像したことを書くこととしている。</p>
<p>書評を書いて話し合おう</p>	<p>6 (話す聞2・書く2)</p> <p>△これまで読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合う。</p> <p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒知技①イ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技①ウ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。⇒知技③ウ △思考に関する語句の整理。語や文章の中で使うとともに、語句と語句の関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技①オ △目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B①ウ △文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ ■短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。⇒思判表B②イ ◎詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表C②イ ☆道徳：物語の読みを通して、生命がかけがえないものであることを知り、自他の生命を尊重することについての考えを深める。</p>	<p>◎【知技】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることにつながることに気付いている。⇒知技③イ ◎【知技】漢字について解説した文章を振り返り作品の内容の大体を知りたすことを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。⇒知技③イ</p>	<p>◎【思判表】「話すこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①ウ ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ</p>	<p>【態度】読んで書き表し方に目をつけて文を整え、これまで読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合うこととしている。</p>
<p>敬意を表す言い方</p>	<p>2</p> <p>△話し相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。</p> <p>△日常よく使われる敬語を理解し慣れること。⇒知技①キ</p>	<p>◎【知技】日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。⇒知技①キ</p>	<p>◎【思判表】「話すこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①ウ ◎【思判表】「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝えたい、自分の文章のよいところを見付けたいこと。⇒思判表B①カ</p>	<p>【態度】積極的に敬語や言葉の使い方に對する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。</p>

<p>言葉と私たち</p>	<p>2 (話す聞 1・書く1)</p>	<p>言葉に対する自分の考えを書き、言葉への関心を持つ。</p> <p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒知技(1)イ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア △話題の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別して書くこと。⇒思判表A(1)イ ●目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ●目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ●目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ◇目録や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表B(2)ア ◇目録や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表B(2)ア</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。((知識及び技能)(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】話すこと・聞くことにおいて、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に読むの進め方について考え、学習の見直しをもって言葉に対する自分の考えを書き進めている。</p>
<p>漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字</p>	<p>1</p>	<p>△異形異語について理解を深め、関心をもつと正しく使い分け。</p> <p>△第6学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。⇒知技(1)イ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世帯による言葉の違いに気付く。共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。((知識及び技能)(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって異形異語について理解を深め、関心をもつと正しく使い分けようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ⑤ 五年生で学んだ漢字⑤</p>	<p>1 (書く1)</p>	<p>△絵を見て想像したことをもとに、5年生で学んだ漢字などを使って文を作り、書く</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。⇒知技(1)イ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世帯による言葉の違いに気付く。共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって異形異語について理解を深め、関心をもつと正しく使い分けようとしている。</p>
<p>四 伝記を読んで、人物の生き方について自分の考えをまとめよう</p> <p>伊能忠敬</p>	<p>11 (書く3)</p>	<p>◇伊能忠敬の生き方考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介する。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。⇒知技(1)イ △文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ ●目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ●目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ●文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え、自分の文章のよいところを見つけていくこと。⇒思判表B(1)カ</p>	<p>【知技】文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。((知識及び技能)(1)カ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを広げている。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に原因と結果など情報と情報の関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠敬の生き方考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。</p>
<p>日本語の文字</p>	<p>2</p>	<p>△日本語の由来や特徴に関心をもち、適切に使分けができる。</p> <p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世帯による言葉の違いに気付く。共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して書くこと。⇒知技(1)ウ △目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア ◇意見や提案など自分の考えを話したり、それらに関わりたりする活動。⇒思判表A(2)ア</p>	<p>◎【知技】語句の由来などに関心をもつと、適切に使分けができる。((知識及び技能)(3)ウ)</p>	<p>◎【思判表】話すこと・聞くことにおいて、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使分けようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ⑥ さまざまな読み方</p>	<p>1</p>	<p>△同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもつ。</p> <p>△文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。⇒知技(1)イ △語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世帯による言葉の違いに気付く。共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ</p>	<p>◎【知技】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。((知識及び技能)(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見直しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもつと正しく使い分けようとしている。</p>
<p>五 出会った言葉を振り返ろう</p>	<p>8 (話す聞 4・書く4)</p>	<p>●卒業前(前六学年)の言葉の学び振り返り成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つ。</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。((知識及び技能)(1)イ)</p>	<p>◎【思判表】話すこと・聞くことにおいて、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に卒業前(前六学年)の言葉の学び振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つようとしている。</p>
<p>ひろがる言葉</p>	<p>8 (話す聞 4・書く4)</p>	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒知技(1)イ △文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ △思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、話や語句を使うこと。⇒知技(1)イ △文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ △目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア △教育活動を通して、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。⇒思判表A(1)ウ △話し手の目的や自分が関心する意図に応じて、話の内容を伝え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒思判表A(1)エ △互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめること。⇒思判表A(1)オ ●目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ●筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えると。⇒思判表B(1)イ ●目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ●引用したり、設問や対問などを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)エ ●文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。⇒思判表B(1)エ ●文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え、自分の文章のよいところを見つけていくこと。⇒思判表B(1)カ ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表B(2)ア ●事実や経験に基づき、感じたり考えたことなど自分自身にとっての意味について文章を書く活動。⇒思判表B(2)ウ</p>	<p>◎【知技】話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。((知識及び技能)(1)イ)</p> <p>◎【思判表】話すこと・聞くことにおいて、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを広げている。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>◎【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを広げている。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p> <p>◎【思判表】「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。((思考力、判断力、表現力等)イ)</p>	<p>【態度】積極的に卒業前(前六学年)の言葉の学び振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持つようとしている。</p>

教科	図画工作	学年	第6学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
わたしのお気に入りの場所	6	<ul style="list-style-type: none"> ○気持ちや伝わるように、描き方を工夫しよう。 ○お気に入りの場所から表したいことを考えよう。 ○お気に入りの場所をたのしく描こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの生活の中で感じ取ってきたことから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。 ○気持ちや伝わるように色使いや筆使いを工夫して表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お気に入りの場所から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お気に入りの場所を描くたのしさを味わい、主体的に絵に表そうとしている。
学校へようこそ	6	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでに使った材料で、つくり方を工夫しよう。 ○学校の場所を生かして、来る人をたのしませるアイデアを考えよう。 ○友達と力を合わせて活動をたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで使った材料と場所を組み合わせで活動することを通して、造形的な奥行きや色の鮮やかさを理解している。 ○これまでの経験を生かし、材料や場所に働きかけることから表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場所の形や特徴をもとに、来る人をどのようにたのしませるか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかける活動に主体的に取り組もうとしている。
動きを形にオリバラに向けて	8	<ul style="list-style-type: none"> ○針金の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。 ○材料の特徴から表したい動きを考えよう。 ○あこがれの選手の動きをあらわすことをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○紙粘土と針金の特徴を生かし、ポーズを考えながら表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の表したいポーズのイメージをもち、紙粘土と針金の特徴をいかしてどのように表すか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○針金と紙粘土をもちいてあこがれの選手をつくることのできるたのしさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。
墨から生まれる世界	6	<ul style="list-style-type: none"> ○墨や紙の特徴を生かして表し方を工夫しよう。 ○墨の濃さやできた形などから表したいことを考えよう。 ○墨で描くことをたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○墨の濃淡や形の表現から、動きや奥行き、バランスを理解している。 ○墨や紙、紙の特徴を生かして表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○墨の濃さや筆使いなどをいろいろと試すことから、表したいことを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○墨による表現のたのしさを味わい、主体的に新たな表現に取り組もうとしている。
木と金属でチャレンジ	8	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の特徴を生かしたつくり方を工夫しよう。 ○木と金属を組み合わせで表したいものを考えよう。 ○作品を飾ってたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる材料の組み合わせから生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。 ○材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる材料の組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる材料の組み合わせによる面白さや美しさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。
夢の新製品	8	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な材料の使い方を工夫しよう。 ○あつたらしいなどと思う新製品を考えよう。 ○互いのアイデアや表し方、面白さを伝えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な材料を組み合わせることから、動きやバランスを理解している。つくりたいものに合わせて材料を選んだり組み合わせたりしながら、つくり方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○分の願いや発想し、つくりたいもののイメージをもちながらどのようにするか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの表現のよさや工夫を伝え、味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。
カット、ベタッと、すてきな形	4	<ul style="list-style-type: none"> ○紙の切り方や重ね方を工夫しよう。 ○切った紙の形や色から何を表すか考えよう。 ○切ったり重ねたりして、いろいろな表し方をたのしもう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○色画用紙を切ったり組み合わせたりすることから、形や色による動きやバランス、鮮やかさを理解している。 ○これまでの経験を生かしてはさみやカッターナイフなどを活用し、紙の切り方や重ね方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○切ってきた紙の形や色、その組み合わせから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○重ねた感じを味わいながら、主体的にいろいろな表し方に取り組もうとしている。
わたしはデザイナー 12さいの力で	6	<ul style="list-style-type: none"> ○材料の使い方やつくり方を工夫しよう。 ○使う場面を思い浮かべて入れ物を考えよう。 ○生活の中で使える入れ物をたのしくつくりよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○板材の構成や仕組みから、バランスや奥行きを理解している。○これまでの経験を生かし、材料の使い方やつくり方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○用途をもとにつくりたいものを発想し、どのようにするか考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中で役立つものをつくることの喜びを味わい、豊かな生活を創造しようとしている。

教科	体育	学年	第6学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	<p>・体ほぐしの運動の行い方がわかる。</p> <p>・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。</p>	<p>・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。</p> <p>・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。</p> <p>・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。</p>	<p>・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。</p> <p>・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。</p> <p>・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。</p> <p>・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。</p>
体の動きを高める運動	8	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	<p>・体の動きを高める運動の行い方がわかる。</p> <p>(ア)体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。</p> <p>(イ)巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。</p> <p>(ウ)力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。</p> <p>(エ)動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせて一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。</p>	<p>・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。</p> <p>・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。</p> <p>・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。</p> <p>・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。</p> <p>・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。</p>	<p>・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。</p> <p>・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。</p> <p>・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。</p> <p>・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。</p>

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

<p>マット運動</p>	<p>5</p>	<p>・技に挑戦したり、技を組み合わせた時、仲間と動きを合わせたりする。</p>	<p>・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせる技をつくったりできる。 ○開脚前転(更なる発展技: 易しい場での伸膝前転) ○補助倒立前転(更なる発展技: 倒立前転、跳び前転) ○伸膝後転(更なる発展技: 後転倒立) ○倒立ブリッジ(更なる発展技: 前方倒立回転) ○ロンダート ○補助倒立(更なる発展技: 倒立)</p>	<p>・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。</p>	<p>・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。</p>
<p>鉄棒運動</p>	<p>5</p>	<p>・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせた時、鉄棒運動を楽しむ。</p>	<p>・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転(更なる発展技: 前方伸膝支持回転) ○片足踏み越し下り(更なる発展技: 横とび越し下り) ○膝掛け上がり(更なる発展技: もも掛け上がり) ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転(更なる発展技: 後方伸膝支持回転) ○後方もも掛け回転</p>	<p>・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。</p>	<p>・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。</p>
<p>跳び箱運動</p>	<p>6</p>	<p>・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。</p>	<p>・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び(更なる発展技: 屈身跳び) ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び(更なる発展技: 前方屈腕倒立回転跳び)</p>	<p>・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。</p>	<p>・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。</p>

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

短距離走・リレー	5	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい走り方を身に付けて、短距離走の日本記録に挑戦したり、みんなの力を生かす作戦を工夫して、チームの合計記録を縮めることに挑戦したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。
走り高跳び	5	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムカルな助走から力強く踏み切って高く跳び、自分の記録に挑戦したり、走り高跳びの競争をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・上体を起こして力強く踏み切ることができる。 ・はさみ跳びで、足から着地することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り高跳びのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り高跳びの場の危険物を取り除いたり、整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。
2種競技(走り幅跳び・ソフトボール投げ)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技をして、記録に挑戦したり、得点競争をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技の行い方がわかる。 <p>【走り幅跳び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 ・かがみ跳びから両足で着地することができる。 <p>【ソフトボール投げ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投げる手と反対の足を踏み出すことができる。 ・踏み出す足に体重を乗せることができる。 ・手を大きく振って投げるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントや友達の良い動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り幅跳びやソフトボール投げの場の危険物を取り除いたり、それぞれの場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

<p>水泳運動</p>	<p>8</p>	<p>・安全確保に繋がる動きができるようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。</p>	<p>【クロール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールの行い方がわかる。 ・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。 ・柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をする事ができる。 ・肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。 ・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。 <p>【平泳ぎ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平泳ぎの行い方がわかる。 ・両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。 ・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。 ・手の動きに合わせて呼吸することができる。 ・キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。 <p>【安全確保につながる運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保につながる運動の行い方がわかる。 ・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。 ・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押し沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に上浮する浮き沈みを続けることができる。 ・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く泳ぐことができる。 ・息を一度に吐き出し呼吸することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 ・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 ・ウ 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確認してから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。
<p>ネット型(ソフトバレーボール)</p>	<p>7</p>	<p>・攻めの組み立て方を工夫して、ソフトバレーボールをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールの行い方がわかる。 ・自陣のコート(中央付近)から相手コートに向けサービスを打ち入れることができる。 ・ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動することができる。 ・味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。 ・片手、両手を使って、相手コートにボールを打ち返すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくソフトバレーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトバレーボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

<p>ゴール型(シートバスケットボール)</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをするすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
<p>ゴール型(フリーゾーンサッカー)</p>	<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、フリーゾーンサッカーをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーゾーンサッカーの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをするすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが楽しくフリーゾーンサッカーに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーゾーンサッカーの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
<p>表現運動・踊る！ 思い出の〇〇</p>	<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や自然、社会のいろいろな題材の中から、印象的なできごとを見つけ、表したいイメージを感じを込めて踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「踊る！ 思い出の〇〇」の行い方がわかる。 ・表現「踊る！ 思い出の〇〇」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。 ・表したい感じやイメージを、素早く走る一急に止まる、ねじる一回る、跳ぶ一転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返ししたりして、激しい感じや急変する感じをメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「踊る！ 思い出の〇〇」のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。 ・表現したい「イメージを強調する」ために、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいる。 ・表現したい「イメージを伝える」ために、一番盛り上げたい場面を明確にし、急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいる。 ・表したい感じやイメージが表現され、踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現「踊る！ 思い出の〇〇」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 ・表現に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・表現にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

<p>フォークダンス・世界のフォークダンス</p>	<p>3</p>	<p>・「マイム・マイム」「コロプチカ」「グスタフスコール」など、世界の踊りの特徴を捉えて踊る。</p>	<p>・フォークダンスの行い方がわかる。 ・外国の踊り特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・マイム・マイム(イスラエル)などのシングルサークルで踊る力強い踊りでは、みんなで手をつなぎ、かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊ることができる。 ・コロプチカ(ロシア)などのパートナーチェンジのある軽快な踊りでは、パートナーと組んでスリーステップターンなどの軽快なステップで動きを合わせたり、パートナーチェンジをスムーズに行ったりしながら踊ることができる。 ・グスタフス・スコール(スウェーデン)などの特徴的な隊形と構成の踊りでは、前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチづくりなどの変化を付けて、パートナーや全体でスムーズに隊形移動しながら踊ることができる。</p>	<p>・外国のフォークダンスのポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んで踊る。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んで踊る。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えたりしている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。</p>	<p>・外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・フォークダンスに取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合うこと。 ・フォークダンスにグループで取り組む際に、仲間と助け合うこと。 ・フォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たすこと。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配ること。</p>
<p>病気の起こり方</p>	<p>2</p>	<p>・病気は病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わり合って起こることを理解できるようにする。 ・病気の原因について、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などの要因に分類して考え、説明できるようにする。 ・いろいろな病気やその起こり方について関心をもち、課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。</p>	<p>・体が冷えたときや、夜ふかしなどの健康によくない生活を続けていたときに、かぜの病原体が体の中に入るとかぜをひきやすくなる。このように、かぜは様々な原因が関わり合って起こることがわかる。 ・病気は、病原体、体の抵抗力、生活の仕方、環境などが関わり合って起こることがわかる。 ・病気の予防には病気の起こり方を知っておくことが大切であることを理解している。</p>	<p>・どんなときにかぜをひくのか、自分の経験を思い出して、自分の考えを他者に伝えている。 ・かぜを参考にして、いろいろな病気はどんなことが関わり合って起こるのかを考え、説明している。</p>	<p>・日ごろ経験しているかぜなどの病気について、その原因を調べて調べようとしている。 ・病気から体を守る様々なはたらきに関心をもち、資料等で調べようとしている。</p>
<p>感染症の予防</p>	<p>2</p>	<p>・病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めておくことが必要であることを理解できるようにする。 ・感染症の予防の仕方を考えたり、選んだりした方法がなぜ適切であるか、理由をあげて学習カードに書くことができるようにする。 ・病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。</p>	<p>・病原体には多くの種類があり、体の中への入りからまざままである。インフルエンザや結核、はしか、風しんなどの病原体は、主に空気を通して体の中へ入ることがわかる。 ・食中毒の原因となるノロウイルスなどの病原体は、病原体が付いた手や食べ物を通して体の中へ入ることがわかる。 ・病原体の種類によって体に現れる症状も違うことがわかる。 ・感染症を予防するには、病原体が発生するもとをなくすこと、移る道筋を断ち切ることなど、病原体を体の中に入れないようにすることが必要であることを、また、体の抵抗力を高めておくことと病気にかかりにくくなるということがわかる。</p>	<p>・インフルエンザウイルスや食中毒の原因となる病原体がどのようにして体の中に入るのかを調べ、説明している。 ・感染症を予防するには、どうすればよいのかを病原体の体の中への入り方などから自分の考えを他者に伝えている。</p>	<p>・インフルエンザや結核、食中毒、エイズなどの病気について、その特徴や感染の仕方、予防の仕方を選んで調べようとしている。 ・自分の生活を振り返って、感染症を予防するためにこれから気をつけようと思うことやその理由を進んで考えている。</p>

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

生活習慣病の予防①	2	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病を予防するには、運動、食事、睡眠などについて、健康によい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解できるようにする。 生活習慣病の原因となる生活習慣について考え、生活習慣病を予防する方法について説明することができるようにする。 生活習慣病に関心を持ち、学習した知識をもとに自分の生活を振り返るなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓病や脳卒中などの生活習慣病は、運動不足や、糖分、脂肪分、塩分の取り過ぎ、不規則な生活などが関係して起こることがわかる。 生活習慣病を予防するには、適切な運動、栄養のバランスのよい食事、十分な休養・睡眠など、毎日の生活の仕方に気をつけて、健康によい生活習慣を身に付けることが大切であることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病にはどんなものがあるのか、また、健康によくない生活と生活習慣病にはどんな関係があるのかを調べ、自分の考えを他者に伝えている。 具体的な事例における生活習慣病を予防するための方法を理由とともに考え、記している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を振り返って、生活習慣病を防ぐためにこれから実行したいことを進んで考え、日常生活に生かそうとしている。
生活習慣病の予防②	2	<ul style="list-style-type: none"> むし歯や歯周病の予防には、毎日の生活の仕方が関係していることを理解できるようにする。 むし歯や歯周病の予防方法について、学習した知識を活用して具体的に考え、説明できるようにする。 口腔の衛生を保つための生活習慣について、自己の生活を振り返ったり、これからの生活の仕方を考えたりしながら、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> むし歯は、歯垢の中の細菌が、糖分を酸に変え、その酸が歯を溶かすことで起こり、食事中や食後は酸が強くなるので、口の中を清潔におかないと、歯のどけた状態が長く続き、むし歯になりやすくなることがわかる。 むし歯や歯周病を予防するには、食後や寝る前に歯を磨いて、口の中をいつも清潔にしておくことが大切なこと。また、甘いものを控えめにするなど、糖分を取り過ぎないようにすることも予防になることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> むし歯や歯周病がどのようにして起こるのか、その仕組みを調べ、他者に伝えている。 具体的な事例においてむし歯になりやすい生活習慣について考え、発表したりしている。 具体的な事例においてむし歯にならないためのアドバイスを考え、書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を振り返って、むし歯や歯周病を防ぐためにこれから実行したいことを進んで考え、日常生活に生かそうとしている。
喫煙の害	2	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙には、急性の害と慢性の害があることや受動喫煙により周囲の人々の健康にも害を及ぼすことを理解できるようにする。 喫煙と健康について、害や体への影響を考え、説明できるようにする。 喫煙の害について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙は、肺や心臓、脳、胃などに悪い影響を与えること。また、一度習慣になると簡単にはやめられなくなり、長い間吸い続けると、肺がんや心臓病などにかかりやすくなる。 たばこを吸い始めた時期が早く、吸っている期間が長いほど、体への害も大きくなるため、未成年の喫煙は法律で禁止されていることがわかる。 たばこの煙には、たくさんの有害物が含まれており、たばこを吸わない人でもたばこの煙を吸い込むこと(受動喫煙)で、健康に害が生じることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> たばこを吸うと肺にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。 たばこを吸うと体にどんな影響があるのかを調べ、すぐに体に現れる害と長い間の喫煙によって現れる害に分けて発表している。 どんな場所が喫煙を制限したり、禁煙にしたりしているのか、その理由を考え、発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> たばこを人からすすめられた場合には、声に出して、はっきりと断る意志と態度を示している。
飲酒の害	2	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒は、判断力が鈍る、呼吸や胸が苦しくなるなどの影響がすぐに現れることや、飲酒を長い間続けると肝臓がんなどの病気の原因になることを理解できるようにする。 飲酒の害や体への影響を考え、説明することができるようにする。 飲酒と健康について関心を持ち、課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 酒類に含まれているアルコールは、脳のはたらきを低下させるため、酒を飲むと注意力や判断力がにぶり、事故やけがを引き起こすこと。また、呼吸や胸が苦しくなるなど体への影響も現れることがわかる。 一度に多量の酒を飲むと急性アルコール中毒になって死亡することがあることがわかる。 飲酒の習慣は、肝臓、脳、胃、食道、腸、心臓などに負担をかけて多くの病気を引き起こすことがわかる。 体の発育する時期の飲酒は心身におよぼす害が特に大きいので、未成年の飲酒は法律で禁止されていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒を続けていると脳にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。 飲酒を続けていると体にどんな影響があるのかを調べ、すぐに体に現れる害と長い間の飲酒によって現れる害に分けて発表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 酒を人からすすめられた場合には、声に出して、はっきりと断る意志と態度を示している。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

薬物乱用の害	2	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用は、1回の乱用に死に至ることがあり、乱用を続けるとやめられなくなって、心身の健康に深刻な害を与えることを理解できるようにする。 ・薬物乱用の害や周りの人への影響を考え、説明することができるようになる。 ・薬物乱用について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用とは、医薬品を医療以外の目的で使ったり、シンナーなどの化学物質を本来の目的以外に不正に使ったりすることであり、1回の使用でも乱用になることがわかる。 ・薬物の乱用は心身に重大な障害を引き起こし、1回の乱用でも死ぬことがあることがわかる。 ・薬物には「依存性」があり、軽い気持ちで使うとやめられなくなる。また、乱用を続けると自分の心身の健康に重大な害をあたえるほか、犯罪や事故など、社会的な事件を引き起こし、周りの人にたいへんな迷惑をかけることがわかる。 ・薬物の乱用は法律で禁止されていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンナーなどの薬物を乱用すると、体にどんな影響があるのかを調べ、発表している。 ・薬物乱用のこわさについて考え、他者に伝えたり、発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物には手を出さないという自分の決意とその理由を書いて、強い意志を示している。
地域の保健活動	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できるようにする。 ・地域の様々な保健活動の取り組みの中から、人々の病気を予防するための取り組みを選ぶことができるようになる。 ・地域の保健活動について、課題の解決に向けての調べ学習や発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所や保健センターでは、病気の予防や人々の健康づくりのために、健康的な生活習慣に関わる情報の提供や予防接種など、様々な活動が行われていることなどから、私たちの健康は地域の様々な活動に支えられていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康のために自分が気をつけていること、また、学校で行われている活動について考えている。 ・人々の健康を守るために地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを調べ、発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを進んで調べようとしている。

教科	家庭科	学年	第6学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見つめてみよう生活時間	2	生活時間について、家族との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。	生活時間の有効な使い方について理解している。	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
朝食から健康な1日の生活を	10	朝食の役割と栄養、いためる調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、調理計画を考え、いためる調理の仕方を工夫することができる。	食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる。	食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
夏をすずしくさわやかに	8	夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、夏をすずしく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。	住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。	季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
思いを形にして生活を豊かに	14	生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。	製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
まかせてね 今日の食事	10	栄養を考えた食事について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、1食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、栄養のバランスを考えた1食分の献立を工夫することができる。	1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	1食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
冬を明るく暖かく	5	冬の快適な住まい方や衣服の着方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。	住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。	季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
あなたは家庭や地域の宝物	2	家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。	家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

教科	外国語	学年	第6学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 1 This is me!	8	名前や好きなもの・こと、誕生日を発表することができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなこと、誕生日などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)I'm ~, I'm from ~, I like ~, My birthday is ~ およびその関連語などについて、理解している。 ○(技能)名前や好きなもの・こと、誕生日などについて、I'm ~, I'm from ~, I like ~, My birthday is ~ およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなこと、誕生日などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなこと、誕生日などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 2 How is your school life?	8	世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活について伝え合うことができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、世界の子供たちや自分たちの日常生活などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)I live in ~, I go to ~, I usually ~, My treasure is ~, およびその関連語などについて、理解している。 ○(技能)世界の子供たちや自分たちの日常生活などについて、I live in ~, I go to ~, I usually ~, My treasure is ~, およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、世界の子供たちや自分たちの日常生活などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、世界の子供たちや自分たちの日常生活などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 3 Let's go to Italy.	8	行ってみたい国や地域と、その理由を説明することができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)~ is ~, You can ~, It's ~, およびその関連語などについて、理解している。 ○(技能)行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、~ is ~, You can ~, It's ~ およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、行ってみたいおすすめの国や地域と、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Check Your Steps 1 外国の人にメッセージを伝えよう	2	外国の人にメッセージを伝えることができる。 (外国の人にメッセージを伝えるために、自分の名前や好きなこと、日常生活、宝物、行ってみたい国などについて、話すことができる。)	○(知識)Unit 1~3で学習した表現やその関連語などについて、理解している。 ○(技能)自分の名前や好きなこと、日常生活、宝物、行ってみたい国などについて、Unit 1~3で学習した表現やその関連語などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	○外国の人にメッセージを伝えるために、自分の名前や好きなこと、日常生活、宝物、行ってみたい国などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。	○外国の人にメッセージを伝えるために、自分の名前や好きなこと、日常生活、宝物、行ってみたい国などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。
Unit 4 Summer Vacations in the World	8	世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介することができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、世界と日本の夏休みの過ごし方や自分たちの思い出を紹介することなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)I went to ~, I enjoyed ~, I ate ~, It was ~, およびその関連語などについて、理解している。 ○(技能)世界と日本の夏休みの過ごし方や自分たちの思い出を紹介することなどについて、I went to ~, I enjoyed ~, I ate ~, It was ~, およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、世界と日本の夏休みの過ごし方や自分たちの思い出を紹介することなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、世界と日本の夏休みの過ごし方や自分たちの思い出を紹介することなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 5 We all live on the Earth.	8	地球上に暮らす生き物について考え、そのつながりを発表することができる。 (地球上に暮らす生き物について考えるために、それら生き物どうしのつながりなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)Where do ~ live?, ~ live in ~, What do ~ eat?, ~ eat ~, およびその関連語などについて、理解している。 ○(技能)地球上に暮らす生き物どうしのつながりなどについて、Where do ~ live?, ~ live in ~, What do ~ eat?, ~ eat ~, およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○地球上に暮らす生き物について考えるために、それら生き物どうしのつながりなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○地球上に暮らす生き物について考えるために、それら生き物どうしのつながりなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 6 Let's think about our food.	8	食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表することができる。 (世界と日本との関係を知るために、食材を通じて世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)I ate ~, I usually eat ~, ~ is from ~, ~ is in the ~ group, およびその関連語などについて、理解している。 ○(技能)食材を通じて世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、I ate ~, I usually eat ~, ~ is from ~, ~ is in the ~ group, およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○世界と日本との関係を知るために、食材を通じて世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○世界と日本との関係を知るために、食材を通じて世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Check Your Steps 2 世界と自分のつながりを紹介しよう	2	世界と自分のつながりを見つけて紹介することができる。 (世界と自分のつながりを紹介するために、持ち物や動物、食べ物などについて、話すことができる。)	○(知識)Unit 4~6で学習した表現やその関連語などについて、理解している。 ○(技能)持ち物や動物、食べ物などについて、Unit 4~6で学習した表現やその関連語などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	○世界と自分のつながりを紹介するために、持ち物や動物、食べ物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。	○世界と自分のつながりを紹介するために、持ち物や動物、食べ物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。
Unit 7 My Best Memory	8	小学校生活の思い出を伝え合うことができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)My best memory is ~, We went ~, We saw ~, I enjoyed ~, およびその関連語などについて、理解している。 ○(技能)小学校生活の思い出などについて、My best memory is ~, We went ~, We saw ~, I enjoyed ~, およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、小学校生活の思い出などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 8 My Future, My Dream	8	中学校生活や将来について考え、夢を発表することができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについて、その概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。)	○(知識)I want to join ~, I want to enjoy ~, I'm good at ~, I want to be ~, およびその関連語などについて理解している。 ○(技能)中学校生活や将来の夢などについて、I want to join ~, I want to enjoy ~, I'm good at ~, I want to be ~, およびその関連語などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、中学校生活や将来の夢などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Check Your Steps 3 寄せ書きのメッセージを伝えよう	2	クラスのみんなに寄せ書きのメッセージを伝えることができる。 (寄せ書きのメッセージを伝えるために、小学校の思い出や自分のなりたいことについて、話すことができる。)	○(知識)Unit 7~8で学習した表現やその関連語などについて、理解している。 ○(技能)小学校の思い出や自分のなりたいことなどについて、Unit 7~8で学習した表現やその関連語などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	○寄せ書きのメッセージを伝えるために、小学校の思い出や自分のなりたいことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。	○寄せ書きのメッセージを伝えるために、小学校の思い出や自分のなりたいことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第6学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
マイドリーム ～よりよく生きるために～ パート①職場体験	13	探究的な活動(働く体験)を通して、働くことに対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○仕事をする人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫しようとしている。	○職場体験の準備や企画など、目的意識をもって活動している。
マイドリーム ～よりよく生きるために～ パート②ボランティア体験 職業調べ	12	探究的な活動を通して、ボランティア活動に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○ボランティア活動をする人や様々な立場の人の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫しようとしている。	○調べ活動の発表会の準備や企画など、目的意識をもって活動している。
マイドリーム ～よりよく生きるために～ パート③将来の夢	10	1、2学期の活動を振り返り、将来の自分の夢について見つめ直し、主体的に問題を解決し、今後の生き方に活かすことができる。	○自分の興味のある職種の方々の考え方や活動を理解している。	○自ら設定した課題に対し、よりよい解決方法を工夫しようとしている。	○祝う会での発表の準備やまとめ活動など、目的意識をもって活動している。

教科	特別活動	学年	第6学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級の目標を決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★最後の運動会を盛り上げよう	3	最高学年としての自覚をもち、運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	最高学年としての自覚をもち、運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	最高学年としての自覚をもち、運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	最高学年としての自覚をもち、運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の遊びを工夫しよう	3	最高学年としての自覚をもち、天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	最高学年としての自覚をもち、安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	最高学年としての自覚をもち、安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	最高学年としての自覚をもち、自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
1学期を振り返ろう (夏休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
楽しい林間学校にしよう	2	最高学年としての自覚をもち、林間学校を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	最高学年としての自覚をもち、林間学校を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	最高学年としての自覚をもち、林間学校を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	最高学年としての自覚をもち、林間学校に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつり成功させよう	3	最高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	最高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	最高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	最高学年としての自覚をもち、篠三まつりに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★学習発表会を成功させよう	6	最高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	最高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	最高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	最高学年としての自覚をもち、学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返ろう (冬休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう (冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	3	最高学年としての自覚をもち、天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	最高学年としての自覚をもち、安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	最高学年としての自覚をもち、安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	最高学年としての自覚をもち、自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
もうすぐ中学生 (春休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。中学考生活への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

教科	読書科	学年	第6学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1年生に読み聞かせをしよう 本の世界を楽しもう	12	○1年生の実態に合った本を選ぶことができる。 ○読み聞かせを通して、読書の良さを実感することができる。 ○幅広く本を読み、自分の世界を広げることができる。	○読み聞かせをする本の内容を理解している。 ○幅広い本の中から選んで読むことができる。	○読み聞かせをする本の内容を理解し、本の中からクイズを考えクイズを出している。 ○幅広く本を読み、友達と交流し自分の考えを表現している。	○1年生に合う本を選んで選ぶとしている。 ○幅広く本を選んで本を読もうとしている。
伝記を読もう 興味のある人物のリーフレットを作ろう	15	○興味をもった人物について本を読むことができる。 ○興味をもった人物についてリーフレットにまとめることができる。	○自分が興味をもった人物の本を複数探している。 ○選んだ本の中から必要な情報を引用したり、要約したりして書き出している。	○自分が興味をもった人物を見つけたい。 ○自分の興味のある人物の人物や生き方が分かる情報を整理している。	○問題解決のために選んだ本を進んで読んでいる。 ○自分が見つけた問題について、他者と関わり合いながら主体的に学んでいこうとしている。
「職業調べをしよう」		○自分の目的や課題に応じた資料を収集することができる。 ○調べたことや自分の考えを、分かりやすくまとめ、表現することができる。	○様々な図書館資料を読み、目的に応じて必要な情報を抜き出し、記録する。	○問題解決のために収集した情報を整理・分析している。 ○目的に合わせた方法を選んでまとめ、それをもとに友達に説明している。	○進んで本を読み、調べようとしている。 ○働くことについて知り、自身の人生に生かそうと、主体的に学んでいこうとしている。
「私の大切な一冊を紹介しよう」	8	○これまでの読書経験から、友達におすすめの本を紹介することができる。	○紹介する本について、必要な情報を抜き出し、記録する。	○自分の考えを分かりやすくまとめ、友達に表現する。	○読書の良さを理解し、友達と関わり合いながら主体的に学んでいこうとしている。